

『令和2年度保護者対象進路講演会』開催報告

喜多方高校進路指導部

- 期日：令和2年7月25日(土)
- 講演テーマ：「子どもたちはどう羽ばたくのか
～人生を開いていくポイントについて～」
- 講師：早稲田大学名誉教授（フランス教育哲学）
石堂 常世 先生

これまでの教職経験をもとに、子どもたちの人生が輝けるものになるためには何が大切かという切り口でご講演をいただきました。

高校生から次のステップに進むにあたってのポイントは3つあります。まずは大学選びが大切です。どこの大学に進学したかで、その後の方向性が決定するというものもないわけではなく、だからこそ、自分はどの大学で学ぶのかということをよく考え、慎重に大学を選んだ方が良いでしょう。併せて、その大学の文化的・歴史的土壌というのも大切な要因になります。2つ目として、大学に入ったら真面目に勉強をすること、そして、交友関係を広げることです。良き先生との出会いの影響も大きいし、アルバイトなどの経験も自分のプラスの材料にすることができます。3つ目として、大学卒業後の人生の方向性をどのように定めるのかということ。全てが思い通りになるとは限らないけれど、良い方向に進むのか否かは、結局その人の努力に依るものです。これらのことが、それぞれの人生の色合いを決定するものです。

大学は「今後の人生の基盤づくりになる」ということを、親という立場で子どもたちに伝えてほしいと思います。国際化・情報化が進む中で、急速な社会の変化に対応し主体的に考え行動できること、そして、自己研鑽に努め国際社会でリーダーシップを発揮できる人材となっていくことを期待します。

保護者の方々はもちろんのこと、本校教職員にとっても、心に染み入るお話でした。それぞれの立場において、子どもたちに接していくにあたっての指針を受け取れたことと思います。石堂先生、参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

